RS232C/Bluetooth コンバータ

DB－P232

ユーザーズマニュアル

WP-02-230809

第2版　　2023 年 8 月

データリンク株式会社

はじめに

ＤＢ－Ｐ２３２（以下本機）は、ＲＳ２３２Ｃポートと Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈを有する
インターフェイスです。
本器は、ＤＢ－Ｐ２３２／Ｍ（マスタ側）とＤＢ－Ｐ２３２／Ｓ（スレーブ側）の１組で使用します。
ＲＳ２３２Ｃ機器間をＢｌｕｅｔｏｏｔｈで無線通信します。
簡単に通信パラメータの設定が可能です。

１、梱包内容

ＤＢ－Ｐ２３２Ｍ	１台	
ＤＢ－Ｐ２３２Ｓ	１台	
ＲＳ２３２Ｃケーブル	２本	（両端メス・メスのインチネジの１ｍクロスケーブル）
電源ケーブル	２本	（片側ＵＳＢ－Ａ、片側ｍｉｎｉＢ）
ユーザーズマニュアル（本書）	１部	

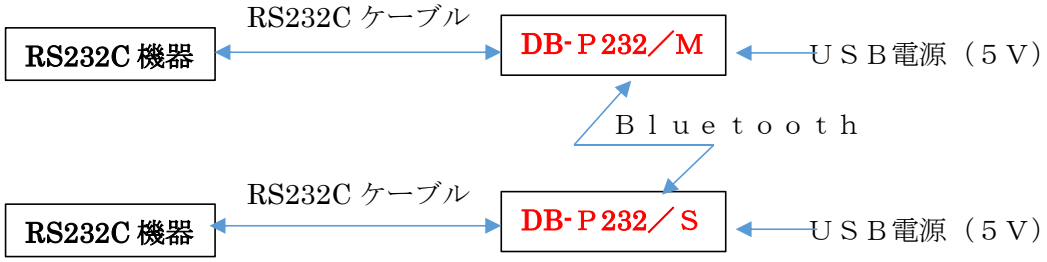
ＡＣアダプタ（ＵＳＢ　５Ｖ出力）は添付されていません。ＰＳＥ仕様のアダプタを選択ください。

２、特徴

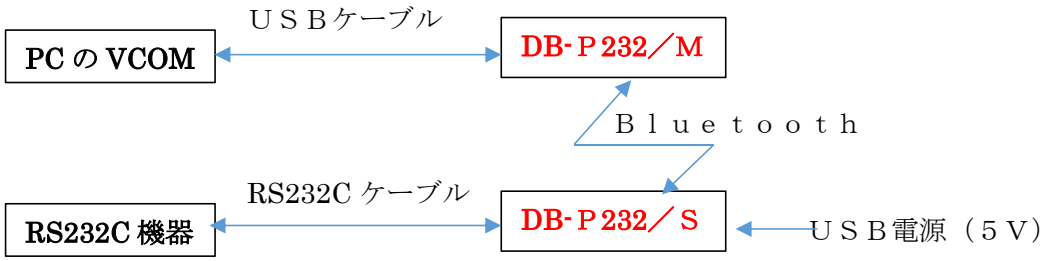
・２台はペアリングされた状態で出荷されます。
・通信距離は、障害物が無い場合、おおむね１０ｍ程度です。

３、使用環境

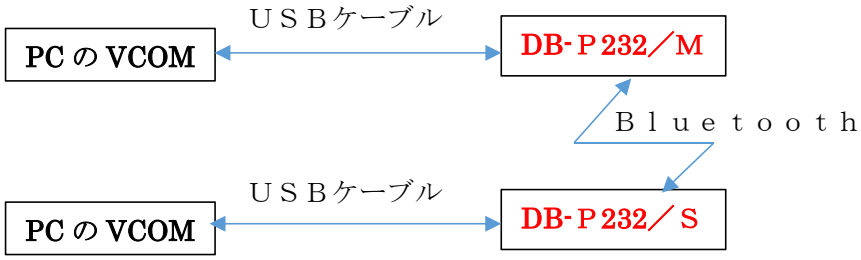
３－１）ＲＳ２３２Ｃ機器間で使用する場合



３－２）ＲＳ２３２Ｃ機器とＰＣ間で使用する場合



３－３）ＰＣの VCOM 間で使用する場合



４、仕様

・物理的仕様

環境温度　　０～５０℃
環境湿度　　結露なきこと
形状　　横：３３ｍｍ　高さ：１６ｍｍ　奥行き：５７ｍｍ
重量　　２５ｇ
電源　　ＵＳＢ　ＡＣアダプタ５Ｖを供給
　　または、ＶＢＵＳからの供給
消費電力　　非通信時　　６０ｍＡ
　　通信時　　１２０ｍＡ

・インターフェイス

ＲＳ２３２Ｃ　ＤＳＵＢ９ピン（オス）ＤＴＥ配列
Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ　　２．４ＧＨｚ

・ＲＳ２３２Ｃ通信仕様

本機は１０Ｋバイトの受信バッファを持っています。

・ＲＳ２３２Ｃのピン配列

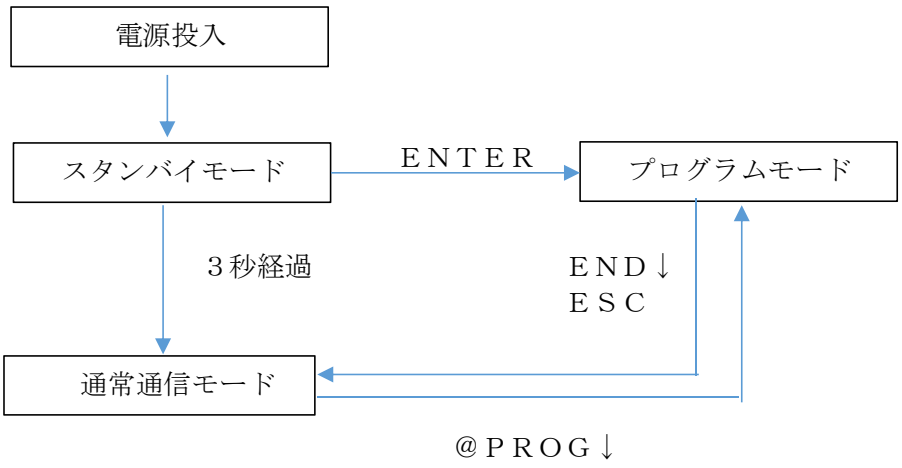
ピン番号	信号名	方向	ピン番号	信号名	方向
1	ＮＣ		6	ＤＳＲ	←
2	ＲＸＤ	←	7	ＲＴＳ	→
3	ＴＸＤ	→	8	ＣＴＳ	←
4	ＤＴＲ	→	9	ＮＣ	
5	ＳＧ				

←本機への入力信号
→本機からの出力信号

５、電源の投入

５－１）状態遷移図

本機の状態遷移図を示します。



１）スタンバイモード

「状態表示」の赤ＬＥＤが約３秒間点滅します
この間に、ＥＮＴＥＲキーを入力すると**プログラムモード**へ入り、「状態表示」の赤ＬＥＤが点灯します。
放置して３秒が経過すると通常通信モードに入ります。
プログラムモードに入るためには、ＰＣで端末ソフトを起動する必要があります。
後述します。

２）プログラムモード
　パラメータの変更が可能になります。
３）通常通信モード
　・ペアリングが出来ていない場合、緑ＬＥＤが点滅します。
　・ペアリングすると、緑ＬＥＤが点灯します。

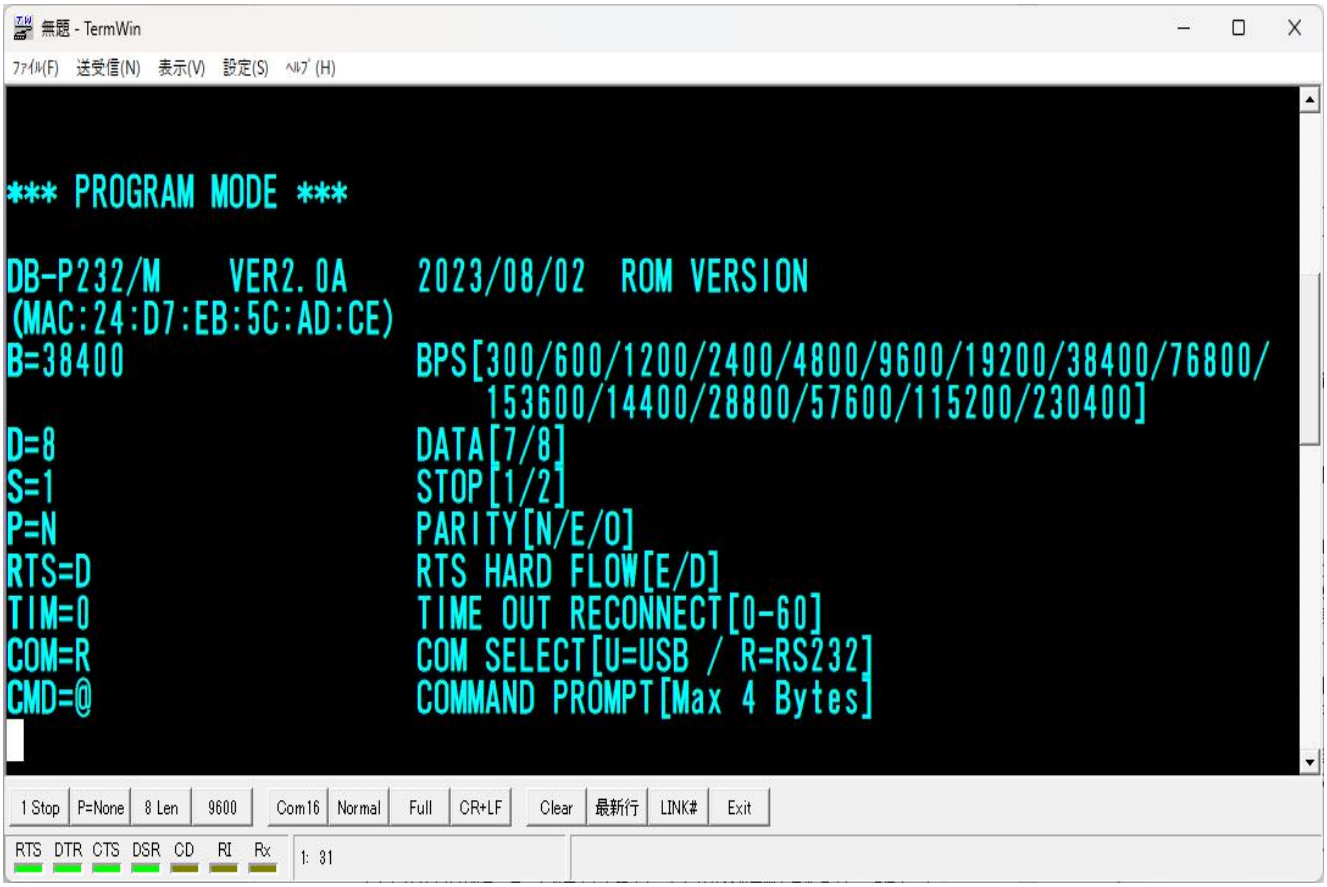
説明中、ＥＳＣはキーボードのＥＳＣキーです。
　　↓はＥＮＴＥＲキーです。

２）スタンバイモードからプログラムモードに入る方法
・ＰＣとＤＢ－Ｐ２３２Ｍを付属のＲＳ２３２Ｃケーブルで接続する
・ＰＣ上でＲＳ２３２Ｃ端末ソフト（ＴＥＲＭＷＩＮ）を立ち上げる。
　このソフトは、弊社ＨＰよりダウンロード可能です。
・ＴＥＲＭＷＩＮの通信条件を、９６００ＢＰＳ／パリティなし／８ビット
　に設定する。プログラムモードに入るためには必ずこの値に設定する必要があります。
・本機の電源を入れる。
　スタンバイモード（赤ＬＥＤがフラッシングしている間）中に、ＰＣから
　ＥＮＴＥＲキーを入力する。
　この結果、本機はプログラムモードに入りパラメータの変更が可能になります。
　赤ＬＥＤが点灯します。

３）コマンドによりプログラムモードに入る方法
・ＰＣ（ＶＣＯＭ）または接続されているＲＳ２３２Ｃ通信機器から命令
　　＠ＰＲＯＧ↓（↓はＥＮＴＥＲキーまたはＣＲキー）を入力します。
　この結果、赤ＬＥＤが点灯します。

　この場合、ペアリングされているＰＢ－Ｐ２３２Ｓの電源が切れている必要が
　あります。
　また、プログラムモードで設定されている通信条件とＶＣＯＭの設定が同一である
　必要があります。

５－２）表示例と変更の方法



（上図は出荷時のＲＳ２３２Ｃ設定値）

表示された内容の説明

１）ＢＡＵＤ　ＲＡＴＥは、接続するＲＳ２３２Ｃ機器の通信条件を指定します。
例えば、Ｂ＝１１５２００など入力します。
データ長は、７か８です。
パリティは、ＰＥ、ＰＯ、ＰＮです。
ストップビットは、１か２です。

２）フロー制御は、相手機器ＲＴＳ（本機ＣＴＳ）で行います。
本機のバッファメモリは１０ＫＢあります。
相手機器ＲＴＳ(本機ＣＴＳ)有効になると、フロー制御オン
相手機器ＲＴＳ(本機ＣＴＳ)無効になると、フロー制御オフ

３）ＴＩＭ＝０　（０～６０）
Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈが無通信で切断した場合、この時間間隔で再接続します。

４）ＣＯＭ＝Ｒ　ＲかＵを指定します。ＣＯＭポートがＲＳ２３２ＣかＵＳＢを指定します。

５）ＣＭＤ＝@　プログラムポートに入る命令の頭文字を指定します。

６）ＥＮＤ命令でこの画面に設定された値が内部のＥＥＲＯＭに書きこまれ、通信モードに入ります。
次回電源が投入された時、この設定値で動作します。

７）ＥＳＣ（ＰＣのキーボードの左上）を押すと、ＥＥＲＯＭの内容を更新せずに、通信モードに入ります。

８）入力中に、ＥＮＴＥＲキーを入れると、設定中のパラメータが表示されます。

6）ペアリング

機器の電源を投入すると、赤ＬＥＤがフラッシングし、その後、青ＬＥＤがフラッシングします。　相手機器を認識すると２台は自動的にペアリングし、その結果、青ＬＥＤが点灯しっぱなしになります。

他の機器とはペアリングしません。

この時、DB－P232Mに設定されている通信条件は、自動的にDB－P232Sに送られます。
よってDB－P232Sの通信パラメータを、PROGモードで設定する必要がありません。

製品保証

この製品の保証期間は、当社発送日より1カ年です。保証期間は、製品貼付のシリアルナンバーで管理しています。
保証書はございません。

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害について、当社はその責任を負わないものします。

次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
（1）お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等で生じた故障および損傷。
（2）ご使用上の誤り、あるいは改造、修理による故障および損傷。
（3）火災、地震、落雷等の災害、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
（4）当社製品に接続する当社以外の機器に起因する故障および損傷。

2　次のような場合、有償でも修理出来ない時があります。PCB基板全損、IC全損等、故障状態により修理価格が新品価格を上回る場合。

3　製品故障の場合、出張修理は致しておりません。当社あるいは販売店への持ち込み修理なります。
上記保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

4　ユーザサポートのご案内

ユーザサポートのご案内

DB－P232 に関するご質問、ご相談は、ユーザサポート課までお問い合わせ下さい。
データリンク株式会社　ユーザサポート課
TEL:04-2924-3841㈹　FAX:04-2924-3791　E-mail：support@data-link.co.jp
受付時間　月曜～金曜(祝祭日は除く)
AM9:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

DB－P232　取り扱い説明書　2023 年 8 月　第 2 版

製造、発売元　データリンク株式会社
〒359-1118　埼玉県所沢市喜多町 10-5
TEL04-2924-3841㈹　FAX04-2924-3791